

タウン誌 ご自由にお取り下さい。



2017年冬・51号

信条・世に媚びず・粋にとらわれず  
・言いたいことはハッキリ言おう

発行 〒583-0018

大阪府藤井寺市西古室 2-8-13

TEL・FAX 072-954-3312 吉田 進

〒110-0015

東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL : <http://www.kawaraban.ne.jp/>

E-mail : [info@kawaraban.ne.jp](mailto:info@kawaraban.ne.jp)



「果報は寝て待て」というが、今の日本では「果報は徹夜して掴め」だ。労働者の過労自殺がいたましい (写真/ベトナムのくだもの店)

## CONTENTS

世の中・社会・文明・歴史・家族・自分のことを書いています。

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| 小池「希望」が、庶民の「希望」を奪った …………… 2 |  |
| 権力に屈せず、風に飛ばされず、             |  |
| 勢いに負けず、流れに流されず。 …………… 3     |  |
| 突き抜けた選挙戦 数多くの支援もらって …………… 4 |  |
| 拝啓 NHK解説委員(元安倍番記者)様 …………… 5 |  |
| 憲法問題連載・第2回                  |  |
| 「9条護憲論者達」の欺瞞と               |  |
| それに惑わされ踊る国民性の正体 …………… 6     |  |
| 北朝鮮のミサイルを                   |  |
| 撃ち落としたり日本は滅ぶ …………… 7        |  |
| 岩名雅記のCmジャーニー②⑦              |  |
| モノのない分だけ心が動いていた …………… 8     |  |
| 公害・環境・核問題の著者                |  |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 川名英之氏に聞く ②                 |  |
| 未来に向け私たちがなすべきこと …………… 9    |  |
| 若者が議員になるための障壁について …………… 10 |  |
| モンゴル 平和な草原の国 …………… 11      |  |
| 日本人にとって「働くこと」とは …………… 12   |  |
| 山本周五郎(下)                   |  |
| -女性に支えられた小説家- …………… 13     |  |
| ホーム転落防止 どんな介助が必要? …………… 14 |  |
| 水平線 …………… 15               |  |
| 衆院選挙にみるドタバタ劇顛末 …………… 15    |  |
| 編集後記 …………… 15              |  |
| 恭子の日記⑫                     |  |
| 愛の目標 …………… 16              |  |

(創刊 2001年 / 季刊)

## 第48回 衆院選

# 小池「希望」が、庶民の「希望」を奪った 自民大勝 希望沈んで 立憲民主立つ



枝野さんの話に「心に響いた」「共感した」という聴衆が多かった（大阪・天神橋筋商店街）

アベ一強、世界に誇る日本の平和憲法はどうなる？ 生活はと、不安は絶えない。でも枝木は立つた。

さて、その安倍さんですが、人気失墜の森友、加計両学園問題を消すため解散、総選挙を強行。北朝鮮の脅威を前面にアベノミクスの成果として景気・賃上げ・株価のアップを誇示し、おまけに、のち導入予定の消費税の増税2%分を「教育費無償化」というポピュリズム公約で、声を大にしてきました。

安倍さんは、アベノミクスで国民は豊かになると言いましたが、ほんまにそうでしょうか？ 私たちの台所は火の車で、賃上げなんてウソツパチ。雇用改善も労働者の大半は無権利な非正規社員で、ポロ儲けは大企業だけ。その企業の内部留保は今や400兆とか。また株価も年金資金を何兆円も投入して操作してる有様。それって、違法な官制インサイダーと思ってしまう。

立憲民主党の枝野さんは、街頭で違憲の安保法制や集団自衛権に踏み込んだ。「アベ政権の狙いは、憲法9条の改憲。そして立憲民主党を立ち上げたのは、われわれではない。国民が背を押してくれたから。わが党は、国民が主人公の、まっとうな政治を実現します」と語った。

さて、アベの高笑いを許したのは小池、前原の二人。前原進党代表は、「名を捨てて実を取る」と、100人の議員行列に持参金をもって小池党にキツネの入り婿とは情けない。どっちがタヌキかキツネかは知らないが、結果は「小池にはまって、さあ大変」ではすまされぬ。その前原さんは、「立ち止まって、今後を考える」というが、こっちは「前原さん ウロウロせんと 立っておれ」と言いたい。でも、私たちは座って政治劇を見とったらあきまへん。「戦いはこれから」でっせ。（吉田 進）

# 権力に屈せず、 風に飛ばされず、 勢いに負けず、 流れに流されず。



10月19日、雨の秋葉原駅前で4000人に枝野氏は訴えた

へこたれるようでは

## 浅薄な民主主義だ

東京都江東区 三田 栄考

前原民進党代表は「このま  
までは民進党は衰退するか  
ら（首班候補に小池を担いで  
政権奪還を考えていただけろ  
う）」小池新党に皆で合流し  
ようと、両院議員総会で提案  
し了承された。

そこまでは仮に良かったと  
しても、その後の事態の変化  
に対応する能力も気迫にも欠  
けていた。排除される運命の  
野田元総理もぶら下り取材に  
「そうです全会一致です」と  
答えていた。前日前原は役員  
会でその説明をしており、枝  
野は「妨害しない」と答えた  
と語っている。メディアでは  
「翌日の議員総会のハードル  
が高く、すんなり行くか？」  
と報じたのにアッサリ決まっ  
た。今年の流行語大賞になる  
だろう「排除します」がマス  
コミを騒がすと、北海道の民  
進党の逢坂が真っ先に「自分  
は無所属で出る」と宣言し活  
動を始めた。次いで辻元清美

が「私は希望に行かない」と  
明言し、枝野幸夫の「立憲民  
主党」結党に続いた。

しかし、残念かつ情けな  
く思うのは、あの両院総会  
で「小池は右翼団体日本会議  
の副議長であり、核武装も視  
野に置くと言った右派ではな  
いか？ 党を出ていった細野  
や松原に何故我々が頭を下  
げねばならないのか？」と  
か「チョット待てよ。議員だ  
けで決めるのは民主的でな  
い」とかの疑問を10人でも強  
く呈していたら雰囲気は大き  
く変わったのではないか。日本  
の選良とも言われる国会議員  
の先生方が冷静な立場にあつ  
ても権力や、流れに全く埋没  
してしまうのには驚くばかり  
だ。色んな組織、団体、場面  
がこのように一挙に流される  
のだろう。中国の共産党一党  
支配や金正恩独裁を笑う資格  
が我々にもないように思う。  
自分のしつかりした生き方、  
信念をもって、時の権力や流  
れに巻き込まれないようにし  
たいものだ。

### 貴方はリベラル派？

**自民党名はliberalじゃよー！**

小池百合子は強気な自信家  
だ。確かに「希望の理念に合

わない人を排除」する理屈も  
正しい。後日彼女の大失策  
を「自ら排除と言ったのでは  
ない。記者から、排除します  
か」と聞かれたからそう答え  
た」と弁明している。その  
頃、2人の都議の都民ファ  
ースト離党とか、若狭の「次の  
次に小池は出馬」とかの不手  
際が続き希望党は失速した。  
新しい勢力分野が決まり旧民  
進党の人達がどう動くか？

革新という言葉が使われな  
くなって久しい。代わりに類  
似語でリベラルが登場した  
が、我が国ではこの意味は人  
によって解釈が色々だ。私は  
立憲民主党に期待する。議員  
個人の自由な意見と党の結束  
との課題（民主党の失敗）を  
上手に克服してもらいたい。  
リベラル勢力を結集できれば  
安倍改憲を阻めるかも知れな  
いが、前原のいう真ん中の広  
い（無関心層）を取り込む  
力、発信力が無ければ政権を  
取れない。本来政治家・政党  
は政権を握って自らが正しい  
と思う政策を実行するのが目  
的であって、政権党にブレ  
キ・反対するのが主目的では  
ない。枝野は「立憲民進党は  
あなたの党です」と呼びかけ

ていたが、政治的には草食系  
でお上や天皇に歯向かったこ  
とのない国民に彼の言う「下  
からの真の民主主義」を実現  
できるのか？「50%チョット  
の人しか投票しない。残りは  
関心や期待しない人」を枝野  
は巻き込むことができるの  
か？私は彼に期待しながら協  
力をしようと思っている。

今後の視点は①護憲だけし  
か叫ばない党は時代遅れ。②  
共産党とは理念が違うとの共  
闘拒否には賛成できないが、  
既に世界で共産党を名乗る党  
は少ないからもういい加減に  
日本共産党も党名を変えたら  
共同して闘いやすいのに。③  
野党は自民党とは根本的に何  
が違うか、普遍的原理を対峙  
しなければいけない。それに  
は「勝ち組の味方か、非勝ち  
組の味方か」であり、「政治  
は弱い者の味方」ではないだ  
ろうか？！

最後に投票率53%では民主  
主義とは言えない。ましてや  
10代の若者は50%を切ってい  
るほどで暮らしを託す政治に  
関心がない。比例区得票率  
が33%で60%の議席を得るの  
も制度がおかしい。真の民主  
主義からほど遠い国だ。

## 辻元清美の総選挙

# 突き抜けた選挙戦 数多くの支援もらって

つじともネット(辻元清美とともに！市民ネット)

地区代表 三上 弘志

この度の衆議院選挙に読者の皆さんには色んな思いをお持ちでしょう。私は大阪10区立憲民主党辻元清美つじともネットの一員として選挙報告



をさせていただきます。

清美さんが演説会等で訴えた「突き抜けるように勝利したい」という言葉通りに、激戦の小選挙区で2万票の大差

をつけて勝利できた。それはコッコツと地域を回り、市民の声に耳を傾け、そして言うべきことはシツカリ言い続けて来た清美さんの活動の蓄積の成果である。

正に青天の霹靂、前原民進党代表の希望の党への「合流」方針。前原氏の見解表明の前日、高槻の事務所で清美さんと数人とで鳩首協議の予定が、本人が急遽東京に戻らざるを得ないという慌ただしさだった。それから清美さんも多くの知己との先の読めない情報交換を続けた。

今も尚前原氏の真意や背景は不明瞭だが、多くの仲間の気遣いは民進党の中で分断されバラバラにされることだけは避けて欲しいという一点だった。前原さんを代表に選んだのも分裂を回避するため

だったはずなのに。両院議員総会でのやり取りが皆無だったわけではないが、「満場一致」で前原代表の方針が了承されたとの報道には、不安が渦巻き始める。清美さん自身も後悔と反省を当選の夜に語っている。

この数日は、私の周りからも、清美さんの周りからも、希望の党のうさん臭さ、それに巻き込まれることは絶対回避すべきだという声が寄せられた。SNS上でも、「辻元はどうしたのか!」と脅迫とも激励ともつかない発信が渦巻いた。

10月1日(日)夕方からの市民選対ボランティア応援会議がひとつの山場になり、事務所は予想を超える人々で埋め尽くされ、立ち見の人々も多く息苦しいほどだった。既にマスコミには、ぶら下がりで「リベラルの力を信じています。希望には行きません」と明言していたが、支援者は心配いっぱいで、新党はどうなるのか、という思いも溢れていた。不安と覚悟の交錯した緊迫した討議が続けられた。

翌日の2日、急ピッチで新党立ち上げに向かう。2日の

3時から枝野さん記者会見、夕方に大阪で辻元記者会見という予定だったが、3時の前に、枝野・前原が会うという情報もあり、心配が募る。5時にLIVEで枝野会見が始まった時は、本当に、愈々だ！と初めてスッキリ感が湧いて来た。前原氏は、民進党公認を一切認めないと拒否を明言。となれば新党を作るしかない。無所属で立候補という選択肢はあるが、それでは、大きな潮流となることを期待できない。

### 慎重に見極めたい 野党第一党の責任の重さ

正直言って、枝野会見は抜群だった。党名の説明も時宜にあっていった。新党の政策は、民進党代表選でのものがそのまま生かされた。消費税率引き上げには現状では反対という方針もこの時期にピツタリだった。その後の枝野演説でも、前原さんに見劣りしていた代表選の時と違い、真直ぐに前を向き、ある意味で戦闘的な姿勢は共感を広げる原動力になった。

新党を作りながら告示突入という稀有な体験。当たり前

だが、出馬すれば推薦ハガキやポスター、ビラの準備が必要。でも党名も決まっていな。我々はこの選挙でどれだけ沢山のシールを貼ったことか。でも多くのボランティアはこの作業を嬉々としてすめた。期待を籠める新党なのだから。その後のことは、マスコミでも大きく報じられた通りだが、事務所で作業していて痛感したのは、今までなかったような支持者の広がりだった。不安そうに事務所を尋ねられる市民から言い難そうに「少しですが、カンパしたいのですが」の声。金額の多寡は色々だったが、ホントに市民に支えられた清美さんらしい光景。推薦ハガキも今までにない遠方からも届けられ、一枚でもこの願い届けという思いがこもっていた。

選挙戦に入って、出発式にも日々の行動にも、最終日のマイク納めにも、多くの市民が駆けつけたのは言うまでもない。盛り上がりにも本人も我々も自信を深めて開票速報を待とうとしたら、あっけなく、開票直後に当確が出て駆けつけるのが遅れた支持者が多く出たほどだ。

拜啓 NHK解説委員(元安倍番記者)様

東京 台東区上野 原野 通有

私はこの夏のあなたの講演「安倍政権をどう評価するか」をお聞きするまで失礼ながらお名前を存じ上げておりませんでした。さすがに「安倍首相にもっとも近い女性」と言われるだけあって、安倍さんの心境や心情のひだに触れるような解説を聞いてそれなりに面白かった。



講演するNHK解説委員

しかし、どうしてあんなに臆面もなく首相をほめられるのですか? 「首相自身が宣伝できない」から代わりに言うてあげるくらい、最初から最後まで擁護と代弁のしつぱなし。

曰くプーチンさんに日本酒を振舞って喜ばれて良い人間関係ができた。トランプさんと2度も会って各国首脳に卜

ランプ対処術を伝授してあげたとか、共謀罪法案国会の末期、首相は強行策ではなく会期を延長しようとしたが、そのように運ばなかったとか。挙句の果てに「安倍政権は失業者や景気回復に大きな成果を上げているので、今後も続くのが国民の幸せ」とまでヨイショした。終始一貫、安倍首相の広報部に徹していたのには驚いた。

携帯のネットであなたのことを調べて合点しました。東大法学部を出て96年NHK入局、数々のスクープをもたして今では解説委員も兼ねるまでに抜擢された。安倍総理の美人ストーリー記者とまで言われて総理の懐深く入った。特ダネも取れるでしょうね。スクープを得るには権力者(発言力・発信力のある人物)に近寄れるポジションと、信頼関係を築くのが容易なのは理解できます。あなたは「皆さんは信じられないでしょうが、私は首相

の腸の健康具合も知っている」とまで豪語してましたね。ジャーナリスト魂を捨て、権力におもねる

ご自分では気がつかなかったでしょうが、あの講演時、あなたはしばしば聴衆よりも司会者に目を、身体を向けておられました。誰かと思ったら昭恵夫人のブログに「男達の悪巧み」(右下の写真)と紹介された増岡鉄鋼ビル専務。聴衆より横の人物の顔色が気になったわけですね。権力者におもねる本能があなたにあるのでしょうかね。



司会の鉄鋼ビル増岡専務

ジャーナリストの使命は、権力をチェックするのが本旨だと私は信じております。でもあなたはジャーナリストたるもの権力者に信頼されて、それに協力して社会・国家を安定することだと思っておられるのでしょうか。後日、テレビであなたの安倍首相インタビューを見ましたが、首相が言いたいことを誘導質問され

る様子を辟易する思いで見ただけではないでしょう。安倍首相は露骨に保守のお友達なメディアを優遇、利用します。「読売新聞を熟読」せよとまで平気で言われる気質です。哀しいかな、国

営放送と言われるあなたのNHKも同じ。前川喜平前文科省次官は「NHKに最初に話したのに報道されなかった」と語っています。NHKは権に不利なニュースは報道しない習性を持っているとしか思えません。会長はじめ経営委員を安倍首相が日銀と同じく、好きな人達へと首のすげ替えをしてみましたからね。

「NHK記者は総理の懐深く入って家族同様の扱いを受け、NHK人事まで某日に相談を受けた」という週刊誌の報道に対し、あなた自身は「自分はその日はハワイにいたので参加できるはずはない」と自ら記事を紹介したことが、ことほどさようにメディアに思われるほど権力のおこぼれをもらい、活動の範囲、影響力を拡大するのが記者の本旨と思われるのでしよう。さらに権力者の引立てによって自分も政治家・政治力



安倍昭恵氏のブログ「男達の悪巧み」

を發揮できる立場になる可能性も描いておられるのでしょうか。I・Aさん、菅官房長官にしつこく何度も質問を重ねる東京新聞の望月衣朔子氏の記者根性にぜひ思いを馳せてもらいたいと思います。

敬具

追伸：月刊「文芸春秋」10月号であなたは「安倍総理驕りの証明」なる文章を掲載していたが、「安倍さん私の好意的アドバイスを聞いてよ」、あるいは「安倍首相の筆頭親衛隊長」の汚名返上を決意したのかな?

## 投稿

## ※「9条護憲論者達」の欺瞞とそれに惑わされ踊る国民性の正体

※以下「KGR」と略称する

憂国 太郎

昨今、改憲論議が盛んだが、それ自体これまでKGRによりタブー視されてきたことを考えれば結構なことである。ただ地政学的危機が切迫しているにも拘らず、この国に相応しい自主憲法を望む人たちと、一部KGRに通底する「日本という自生的なネイションステート」を否定しその解体を究極の目的」とし「憲法残りせば国滅ぶも可なり」とする人士との議論が、またしても延々とした平行線に終始するのを危惧する。

現行憲法の成り立ちを分析するに70年前、被占領状況下、当時のGHQにより占領目的を円滑に実施するため下達された案を基に制定され、その後、何ら変更がされることもなく今日に到っている。その骨子はいささか乱暴な整理だが①国民主権②9条に

よる交戦権の否定と戦力の不保持である。

前項はよしとして②についてはその後の世界情勢の変化と現実には、9条や憲法前文「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して云々」という記載とは著しく乖離しており、折々の政府も解釈や補完法制などでその穴を埋める努力をしてきたが、現行憲法の文面を素直に読めばその多くが違憲だという法学者やそれを盾に取ったKGRとの議論で、不毛な神学論争を繰り返して徒に国益を損ない、時間を浪費してきた。

KGRの大部分は深く考えることや現実を見ることなく「素朴に戦争は嫌だ；だから軍隊は要らない；そうすれば戦争にはならない」泥棒は嫌いだ；だから警察は要らない；そうすれば泥棒は来なく政治、教育、特に言論分野



ソウルの日本大使館前の少女像、左のビニールハウスは像を守る監視グループのたまり場

い」という短絡的、非現実的感情論や穢れ思想に支配され念されるのはその中に潜み、特定の思想に被れ、反日、反国家こそ正義と信じる輩が、その組織力や偏向メディアを動員しての扇動により真面目な議論ができなくなる事態だ。

### 反日人達の危うい動き

この手合い（以下、反日的日本人＝反日人と呼ぶ）は敗戦後の人々の虚脱状況の中で、日本人に加害者意識を徹底して植えつけた占領軍やそれに付け込み日本を無力化し一気に共産革命を目指す内外の勢力の扇動もあって、この国の似非インテリ層に大増殖し今でこそ全体として数は減ったが市民団体、リベラル派等と詐称し、いまだに根強く政治、教育、特に言論分野

などに多数存在している。

反日人達はその主張を通すためには詭弁、戦前へのこじ付け、反対意見へのレッテル張り、事実や歴史の捏造、近隣国の反日勢力の利用など手段を選ばない確信犯であり扇動のプロたちである。彼らは国防を弄ぶのみならず内外の情勢変化に対して必要な諸々の改革をも妨害し、わが国の進歩を遅らせ歪めようと躍起である。

問題は彼らの欺瞞に満ち且つ非論理的な言説が何故少なからぬ人々の支持を得ているのかだが、国民性にも由来していると思う。戦前の「大和魂があれば物量ともに勝る米英にも勝てる」という発想と「九条があれば戦争は起きない」「全ての争いは話し合い



日本の愛国主義の象徴 靖国神社

で解決できる」等という非科学的な論理は表裏なのではないか？

事実、戦前は号外を乱発し戦意を煽り、戦後一転、現実離れた平和主義や革命幻想を囃し立てたのは朝日、毎日などの偏向マスコミではなかったか？日本人は厳しい現実や迫りくるリスクを直視し論理的に緻密にその対策を練るのが苦手で、耳触りの良い偽善的な言霊（呪文）に陶醉したり逃避して思考停止に陥る性向があるのでは？感情に訴える耳触りの良いスローガンの作る空気やそれを掲げる狂信的な人々に引きずられ「先の敗戦」や「60年安保闘争、過激左派テロ」等数々の大小の過誤を犯してきたと思う。

憲法の内容は国民が決めることは言うまでもない。

未だに愛国という言葉すら憚られる雰囲気があるが、真つ当に国を愛する国民が今こそ反日人達の洗脳から覚醒し、この国の現実と未来を見据えたあるべき憲法の論議を盛んにし、真の独立国家にふさわしい自主憲法を制定したものである。

2017年9月

# 北朝鮮のミサイルを 撃ち落したら日本は滅ぶ

大阪市中央区 馬場 正雄

自民党は北の脅威に、国を守れと愛国心をゆすぶって軍事力行使を強調する。保守系の議員とその支持者は圧力に重点を置くとの世論調査があった。軍備では恒久平和を達成できないことをまだお分かりにならないらしい。軍備は精々抑止力だけ。敵意を持った核保有国が存在する限りは平和とは言えない。ましてや迎撃すれば、撃ち落しても落とせなくても、さらなるミサイルが飛来して核戦争になる。それは日本人が、人類が絶対避けなければいけない事態だ。

ヒロシマ・ナガサキは天が人類に与えた警告とも言えるのに、全世界で70年間、殺戮に使われずにすんだのに国内で3番目の爆発があれば、われわれ



地下の被爆者に顔向けができない。いかに超軍事大国の米国でも一挙に一瞬に北朝鮮の

核兵器を殲滅できるわけはない。金正恩委員長は米国の核兵器の飛来を察知したら、即

全兵器のボタンを押すことになる。日本も韓国も米国も人類史上最悪の被害が出る。米国の専門家が東京とソウルで200万人が死亡とかの試算を出していた。北朝鮮は自国が滅ばされるなら、金正恩氏が全力で反撃するのは自明の理ではないか。攻撃に対して北朝鮮は必死で反撃できる態勢を移動式や潜水艦や秘密基地などで築いているはずだ。

先制攻撃で反撃能力を破壊するには何十発の核爆弾を北朝鮮に落とさなければならぬ。安倍自民党はトランプ大統領に人類史上最悪の殺人者になれと促す気なのか？ミサイルが飛んで来ても迎撃するなと言うのではない。この瞬間にも核ミサイル飛来の危険性があるのに私も含めて人々はノンキ過ぎないか？選挙でも具体的な方策は議論されなかった。北朝鮮にミサイルを発射させないのが唯一の解決策だ。

## 貴方はどの道を選びますか？

東京五輪をこんな緊張状態で迎えるのは危険だとの意見もあるが、これが3年も続くことはない。ものごとは膠着

状態が続くのではなくエスカレートするものだ。解決しているか破滅しているかのどちらかだ。(A) 迎撃態勢を強化して安全確保する(いつまで？五輪後もこんな緊張が続く？飛来して撃ち落したらその次はどうなる？)(B) こんな状態を続けられないから圧力を強化して交渉の場を持ち込む(日本は戦前ABC包囲網「米英支」に反発して「石油は生命線」と戦争に突っ込んだように。人はましてや国家は国民の手前強硬路線に走るもの。圧力は反発と核戦争を招く)(C) 攻められる前に攻めるのが戦いの常識、北朝鮮を先制攻撃して金正恩体制を覆す。(斬首作戦が噂に出た時点で、彼等の警戒により、不可能になった。一瞬の一齐攻撃で反撃出来なくなるほど北の基地を叩き潰すのは人間としてできない)(D) 圧力と共にこちらから閉ざされた対話の扉をこじ開けて、辛抱強く、騙されても裏切られても(核戦争に比べたら遥かに被害は小さい)各国が説得に動く。迎撃の為の軍事費を友好関係構築に使ったら相手も心休まるだろう。

金正恩という独裁者が恐怖政治の上に、政治の手段に核をもてあそんでいる。しかも、相手がトランプというかつてない異常な大統領であるから危ない危ない。

おまけに安倍晋三という戦後最も好戦的いや軍事優先の首相が「話し合いは意味がない」と北朝鮮を挑発している。3人の役者が競っているから危険極まりない。金正恩氏の孤立感が深まって切れてしまったら、あの暴君が自暴自棄になって見境のない戦争になってしまふ。交渉のルートが、話し合いの場がなければ解決できない。日朝国交回復こそが平和への道だ。韓国は平昌五輪に北朝鮮チームが来たらその期間はミサイルが飛んで来ないと考える。そして五輪を機会に少しでも対話ができないかと模索している。

こちらが手を上げたら、向こうが核兵器で身構えるのは当然ではないか。国を守るのはパトリオットやYH AADではない。迎撃兵器で対応すれば結果的に国を亡ぼすことになるのをしっかり理解すべきだ。

時間を遡行できないならばせめてこの脚で/  
**岩名雅記のCm ジャニー-27**

モノのない分だけ心が動いていた

いわな まさき/舞踏家、映画監督(フランス/南ノルマンディ在住)

今年1月に103歳の老母が他界、結果この12月に65年間住み慣れた太田区馬込の自宅を兄弟5人で売却することになった。馬込は「馬込九十九谷」という言葉があるように、そのむかし太田道灌が築城の候補地として逍遙したという言説が残るほど坂の多い街である。臼田坂を馬の背骨に見立てれば海岸にほど近い平和島方向から見るとその左に三島由紀夫旧邸があり、背骨の位置に尾崎士郎/宇野千代宅がかつてあり、我が家は背骨の右中腹にある。

昭和26年(1951)、当時、同じ太田区内の池上・市の倉に住んでいた私たち家族7人は馬込へ転居した。馬込はまだ鬱蒼とした森と畑の地が多く、転居の1年前から一番上の兄が土運び用のリヤ

い生真面目な勤め人だったが、共に踊りが大好きだった。

**自宅で大ダンスパーティー**

そこで自由人を自称する我輩もアツと驚くことには、昭和27(1952)年から、



昭和29年クリスマスのお宅パーティ。最前列中央に筆者の姉、その後方に母、その左隣に長兄と父

カーを引き、兄弟全員で2段になった畑地を均したことを覚えていた。亡くなった老母は歌が好きでおしゃべり闊達な主婦、いっぽう父は寡黙で歌ひとつ唄えな

やって来たと記憶している。何せ今の時代とは異なり、母親たちの80%は和装だったし、その前に「誰それ君のお母さんが誰それ先生と抱き合って踊っていた」などとい

同じ敷地に鉄筋のアパートを建てる昭和40(1965)年までの約15年間、毎年春とクリスマス2回、自宅で大ダンスパーティーを開いたのだ。そのためかどうか? 数度に渡って自宅を改造、少しでも大勢の人を招くことができるように大広間まで作った。その結果、多いときには80人くらいの人が

うことがスキャンダルよろしく伝聞されるような時代だった。が、両親はそんなことをもたもせず、ダンスに明け暮れたのだった。このタウン誌「クロッシング」の主宰者M君も我輩の高校時代からの親友で、その大ダンスパーティーの後期の歴史にひと花を添えている。さてこんな個人的な話を読者の方々にとっても大切な「クロッシング」誌で展開するのは申し訳ないとは思いつつも、是非ご理解いただきたいのはこの時代(1950-1965)が奇しくも日本が敗戦の痛苦からようやく立ち直り高度成長へ突入する前のベルエポック15年間にピタリと符合するということだ。戦後復興に向かって人々が力を尽くしたこの時代は概して人々に(付度ならぬ)屈託がなくエネルギーに満ちていて、私たち子供心にも快いものを与えてくれたし、何よりも世代や暮らしぶりを超えた時代への「共感」があった。「あなたのくれた帯どめの達磨の模様がチョイト気にかかるとさんざ遊んでころがして——」と当時流行だった久保幸江の「トンコ節」をいつ



昭和26~38年までの自宅門構え

も唄いながら金槌を振るっていた馴染みの大工さん。土庭で家族に見守られながら自転車乗りの練習をして何度も転んでいたブルマ姿の若かった母。絶頂期だった父が酔いつぶれてダンスホール「白馬車」のマダムに新橋から馬込まで送ってもらって母にさんざ叱られたあの日……。ほろ苦くも甘い思い出はきりがな

またモノが十分なくて砂糖やミルクの代用品を使ったり、肉の代わりに小魚を食べたりする生活が続いた。1本のバナナを5等分して兄弟で分け合って食べたこともある。朝鮮特需で焼け跡の釘やボルトを集めて売ったり、校舎を午前と午後に分けて使う「2部授業」、米の配給制、検便用に学校で手渡された大つ

ぶのハマグリのごの美しさなどなど、思い出せば枚挙にいとまがない。

ノスタルジックに過去を美化することは決して褒められたことではないけれど、つま

りは『モノのない分だけ心が動いていた』ということ間は違いなく言えるだろう。その

例に漏れず大ダンスパーティーを開いた両親の心も動いていないに違いない。

父が踊り母が踊ったあの日たち。万感を込めて「馬込の家よ、さようなら」。

### 公害・環境・核問題の著者

## 川名英之氏に聞く②



川名英之氏

## 未来に向け私たちがなすべきこと

中国は一衣帯水の経済地域をうたっています。PM2.5や黄砂をどう解消してくれるのか、日本としてどう要求、対処すればよいと思いますか。

どの除去対策が必要ですが、これには「大手術」が必要です。PM2.5は黄砂とともに偏西風に乗って日本に運ばれてきて日本の大気を汚染していますが、汚染をなくすには抜本的かつ強力なPM2.5削減対策の

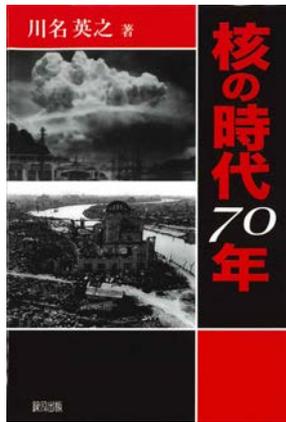
増えています。黄砂には、もともとアルミニウムやマグネシウムが入っていますが、日本到着までには様々な大気汚染物質も取り込みます。PM2.5は長い年月をかけて取り組めば、将来、飛来が防止されるかもしれませんが、黄砂は日本が要求しても中国には対処不可能ではないかと思えます。

トランプ米大統領のパリ協定離脱をどう考えますか。

離脱したら、各国の足並みが乱れます。(離脱は3年間はできないことになっているが)英国のEU離脱も環境保護の観点からも困ります。同時に戦争のない欧州を建設しようという崇高な理念からも。

であるべき米国の指導的地位の低下と国際的孤立をもたらすでしょう。しかし世界は既に温室効果ガス排出量を減らしながら経済成長を実現する時代に入っているため、全米の1000を超える有名企業や71都市がパリ協定を支持、15州が連邦政府を訴追する動きを見せています。トランプ大統領のパリ協定離脱声明を受けて、ワシントン州のインスリー知事、ニューヨークのクオモ知事、カリフォルニア州のブラウン知事、マサチューセッツ州のベーカー知事はパリ協定の目的を達成するために「気候同盟」を結成する意向を明らかにしました。対策に熱心な自治体や企業が独自の温室効果ガス削減対策に力を入れているので、温室効果ガス排出量が短期的に大幅に増えるとは考えにくいです。ただ米国は温室効果ガス削減の技術革新の国際的潮流から取り残され、低炭素社会づくりが停滞する恐れがあるでしょう。

川名 PM2.5の主な成分はディーゼル自動車や工場、石炭発電所などから出る排ガスに含まれる煤で、発がん物質も含まれています。その主な発生原因は石炭と石油(車の場合はガソリン)の燃焼



です。中国ではエネルギーの7割近くを石炭が占めているので、PM2.5の排出は火力発電が最も多い。PM2.5の排出を減らすためには、火力発電や工場の石炭使用量を大幅に減らし、ディーゼル車には微粒子を取り込む袋を取り付けるな

実施を待つかないでしょう。黄砂は古来、主に中国北部で巻き上げられ、偏西風などで東方に運ばれるもので、中国の砂漠化面積は地球温暖化による乾燥地帯の拡大のため増加傾向にあり、その影響で黄砂の発生量が年々、

21世紀末までの上昇温度を2度までに抑えるパリ協定の意義を教えてください。

川名 IPCCの分析によると海水が上がるのは勿論、熱波や洪水が増加し、病人や死者が増える。渇水や干ばつが激化し砂漠化が進み、食料や水不足となり難民も増加します。この様な事態は避けられませんが、現在の各国の温室効果ガス削減目標を達成したとしても2度以内に抑えるのは困難でしょう。ましてやトランプ氏が選挙公約のパリ協定から

川名 米国は世界第2の温室効果ガス排出大国(排出割合は21%)なのに、自国の経済的費用を惜しんで責任を逃れようとするのは責任逃れであり、歴史的過ちです。地球温暖化が人類の未来を閉ざしかねない重大な問題であることが分かっておらず、「地球温暖化はでつちあげだ」と主張しているのだから、何をかいわんや」ですね。世界でパリ協定に加盟していない国はシリアとニカラグアの2カ国だけ。地球の未来を考えず、国際協調を無視した利己的な行為は、国際社会のリーダー

# 若者が議員になるための

## 障壁について

新潟県三条市議会議員 酒井 健

三条市議会議員として約3年半が過ぎ、来年の4月には任期満了による改選となります。全国的な傾向でもありませんが、地方議会、特に人口10万人未満の地方都市において、若者といわれる子育て現役世代である、概ね50歳未満の議員の占める割合は少ない現状があります。三条市においても、議員25名中50歳未満の議員は2名しかおりません。60歳未満としても6名であり比率としては24%、全国的な状況としては表のとおりで約45%となっております。三条市においては全国平均よりもかなり少ないといった実態があります。少子高齢化・人口減少社会を迎えた地方自治体・地方議会の活性化には、元気のいい若者が必要であります。そこで、この間の経験を踏まえ、なぜ三条市において若者の議員が少ないのか、どうしたら増えるのかについて、

私なりに考えてみました。議員になろうとするための基本的なことではありますが、職業として議員を見た場合、専業とするのか兼業とするのか、つまり扶養家族もいる中で議員報酬だけで生活ができるのか、という視点も大切であります。理念も大切ですが日々の生活も大切であります。議員を専業とするか兼業とするかの違いは、市政のチェックや市民の声を行政に反映させるために、どの程度の時間をかけられるか、ということでもあります。本来は24時間365日議員であるべきですが、兼業ということはそれができないということになります。最終的には市民が判断すべきところであります。専業でということになりますが、それに見合う報酬が必要ということになります。三条市における議員報酬は月額37万8千円、議長は月額

47万円であり、人口10万人未満の自治体では概ね平均となります。これに一時金などを合わせ、年収となりますと約600万円となります。これらの報酬は、三条市特別職報酬等審議会において審議され

表 議員の年齢構成

(平成28年8月集計 出典：全国市議会議長会)

| 議員数 | 年齢構成               | 30歳未満          | 30~40歳未満         | 40~50歳未満          | 50~60歳未満          | 60~70歳未満          | 70~80歳未満          | 80歳以上         | 平均年齢  |
|-----|--------------------|----------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------------|-------|
| 男性  | 16,468人<br>(85.4%) | 96人<br>(0.6%)  | 910人<br>(5.5%)   | 2,208人<br>(13.4%) | 3,957人<br>(24.0%) | 7,191人<br>(43.7%) | 2,049人<br>(12.4%) | 57人<br>(0.6%) | -     |
| 女性  | 2,816人<br>(14.6%)  | 13人<br>(0.5%)  | 158人<br>(5.6%)   | 399人<br>(14.2%)   | 996人<br>(35.4%)   | 1,095人<br>(38.9%) | 155人<br>(5.5%)    | 0人<br>(0.0%)  | -     |
| 合計  | 19,284人            | 108人<br>(0.6%) | 1,068人<br>(5.5%) | 2,607人<br>(13.5%) | 4,953人<br>(25.7%) | 8,286人<br>(43.0%) | 108人<br>(11.4%)   | 57人<br>(0.3%) | 58.7歳 |

※割合(%)…男女それぞれの議員数に占める割合、合計は全議員数に占める割合  
 ※割合(%)は、それぞれ小数点以下第2位を四捨五入で表記しているため合計数は100%とならない  
 ※調査結果を基に、各性別の年齢構成の区分ごとの割合(%)のみ本紙が加えて作成

ています。この審議会では市議会議員の報酬の額、市長・副市長の給料の額及び政務調査費の額の適否を審議し答申しています。会社員としてみた場合、年収600万円もあれば、地域性もありますが充分であります。

**議員はボランティアでも名誉職でもない**

しかし、専業議員の場合、自営業と同様ここから国民年金・国民健康保険を払わなければなりません。会社員の場合同も厚生年金、社会保険料を払う訳ですが雇用主負担があります。議員も以前は議員年金があり、議員優遇などといわれたこともありましたが、平成の合併で自治体数が減少し自治体議員も減少したことや年金制度として維持できなくなり、廃止となりました。また、4年間の任期というところで、継続性・安定性がなく、銀行に融資を申し込んでも任期を超えての融資はしてもらえません。選挙費用も掛かりますし、議員特有の経費も掛かります。結局手元に残る可処分所得をみた場合、年収300万円くらいの会社員

と同程度であると感じています。この金額で生活をする、結婚し子供を作り、子育てをして子供を学校に通わせ、親の介護をするとなると厳しい金額であります。結局、兼業は妨げないのであるから、他よりの収入を求めると、この報酬で生活できる人しか議員になることができません。議員をやってもらいたい人がいても、これ以上収入がある場合、生活・家族を犠牲にして、この金額で議員をやってくれとは中々頼めません。

三条市においては今回の改選から定数が4名削減され、22名となります。金額にしますと年間2400万円の削減となります。この機会に議員報酬とはどうあるべきかについて、報酬等審議会でも議論していただきたいと考えています。市民には中々見えない所であり、議員本人も言いにくいことではありますが、若者の議員が増え、活発な議論が行われ、議会の活性化につながり、三条市の活性化となるような議会とするにはどうすればいいのか、市民総体で考えて行く必要があるのではないのでしょうか。

# モンゴル

## 平和な草原の国

新潟県三条市 外山 晴一



筆者(左)とモンゴル人親子。訪問先の工場のゲル前にて

8月末に三条市国際交流協会の経済ミッションに参加してモンゴルの首都ウランバートルに行ってきました。モンゴルは古くはジンギスカン、最近ではお相撲さんの活躍で日本人には馴染みの深い国です。ジンギスカン鍋などは日本人の生活に溶け込んでいます。

人口は約300万人で新潟県より2割程多いくらいです。

一方、国土面積は日本の約4倍で人口密度は希薄です。気候は日本と逆で乾燥しており、砂漠と草原の国です。牧畜業が主力産業で、羊、ヤギ、馬、牛、ラクダなどの家畜が人口の10倍の3000万頭近くいます。

家はゲルと言われる伝統的な円形のテ



(上)モンゴル紙幣。表にはジンギスカンの肖像画とモンゴル文字、裏面(下)にはロシア文字



ントで、都市近郊でも多く見られます。1人当たりの国民所得は日本の10分の1で、まだまだ貧しく発展途上国です。内陸国家で港がないことが経済発展の障害になっています。因みに日本への輸出には陸路で中国の港を経由して30日もの大変な時間とコストが掛かります。

ウランバートルはビルが立ち並ぶ近代的な都市です。車は大渋滞しており、ロシア文字の看板が氾濫しています。ロシア語を表記しています。歴史的にロシアとの繋がりが深いためです。モンゴルは1911年に中国で辛亥革命が起きると、ロシアの援助で中国から独立して、1924年にソ連に次いで世界第2番目の社会主義国となりました。

1992年には民主化され、社会主義を放棄しています。お札にもロシア文字が使われています。コインがなく、少額でも紙幣です。お札の表面にはモンゴル文字も使われています。民主化以降はモンゴル文字の復活運動があります。日本の古文書と同じく難しく、日常には使われていません。

主な産業は牧畜業とモリブデン、石炭などの鉱業です。隣国でもあり主な貿易相手国は中国です。輸出の90%以上、輸入の40%を占めています。輸入では次がロシアです。27%、日本と韓国が共に6%です。この様に中国との経済関係が深いですが、中国に対する国民感情は良くありません。世界最大の国家「元」を作ったジンギスカンの末裔であるとの誇り高さ民族ですが、清の時代には中国の支配下に置かれておりました。辛亥革命後も中国はモンゴルの独立を認めず、独立運動を弾圧しました。宗教的にもモンゴルはチベット仏教ですが、現在の中国政府はチベット仏教の指導者ダライラマを迫害

しています。ロシアに対しても国民感情は悪いです。社会主義時代に宗教と思想を弾圧され、僧侶はじめ多くの人がソ連軍と共産党に虐殺されたためです。逆に日本に対しての感情は相撲でのモンゴル力士の活躍もあり、非常に良いです。

私がモンゴルにいるときに北朝鮮が長距離弾道ミサイルを日本の上空に飛ばし、新潟県にも警戒アラームが鳴り、国民は肝を冷やしました。日本ではトランプ大統領の尻馬に乗り安倍首相が北朝鮮に対し強行発言を繰り返して、国民に戦争の不安を与えています。

モンゴルでは戦争やテロの不安はなく、全く平和です。ウランバートルにはアメリカ、北朝鮮、中国、ロシア、韓国、日本の関係6カ国の大使館があります。平和協議をするには絶好の場所です。ウランバートルで関係国による北朝鮮問題の話し合いが合意し、米朝平和条約が結ばれ、平昌オリンピックが南北共同開催されるとのニュースが流れた夢を見ました。正夢となつて欲しいものです。

# 日本人にとって「働くこと」とは

千葉県 大山 桜



ラッシュアワー時の新宿駅 (午前8時40分頃)

## 仕事の満足度は低い

私は何年か会社員をしていますが。毎日通勤電車に乗っているのは「なぜ皆疲れ切っているのか」ということです。外国の方々から、日本人は働きアリと称されることがあります。日本人の大半が疲れた顔をして仕事に行き、黙って仕事をして、金曜日の夜にお酒を飲んで日々の疲れを忘れるのか。日本人は自分

の今歩いている道こそが真実と疑わず、また変化を恐れる傾向にあると思います。日本人の大半は、現状に満足していません。でも今の生活を維持することこそが美德と信じ、その根源は日本の就職活動、上司との関係性からきていることだと私は考えます。日本人は世界各国の中でも仕事満足度は最下位に位置します。優秀な人材が多いと言われる日本ですが、仕事に対する満足度は驚くほど低いことが現状です。

先進国で比較的裕福な日本でなぜこのようなことが起きるのか。私なりに原因を分析したいと思います。

私は、学生時代にオーストラリアとカナダに留学する機会がありました。特にオーストラリアではインターンシップ



働く 働く 傍(はた)を楽にする (養鶏場)

をし、直接「働く場」を体感した身でもあるのですが、向こうの人は働くことを楽しんでいてという感覚が伝わってくるのです。具体的に2つの点があります。

### 上司と部下の関係は

1つ目は、上司と部下の垣根があまりないこと。もちろん敬語の概念がないこともありますが、それ以上にお互いがお互いに意見を言いやすい空間が用意されているということがあると思います。私は2つの職場でしか働いた経験がないので一概には言えないと思うのですが、社長と一緒に昼休みにジムに行ったり、冗談を言い合ったり、何

かあった時にはすぐに上司に相談したりするなど上司と部下との関係は日本よりも良好だったと思うことが多々ありました。

2つ目は自分のしたい仕事をしている印象があることです。新卒採用が重宝されるのは日本だからという気がしますが。海外では基本的に仕事の評価は実力主義と言われています。学歴や年齢はあまり考慮されず、どれだけ能力があるかで仕事に対しての評価がされることが多いのです。それに比べて日本は終身雇用制度という日本独特の制度があり、入社してから退職するまで同じ会社で働いていくことこそが正しい道と思われがちです。それ故に、能力の良い悪いよりも同じ会社に長くいることに重きが置かれる傾向にあります。そうすると、上司のご機嫌を伺い、嫌われないように、会社の駒として生きていくことが一番大事になってきます。仕事をする上でのやりたいことなどを考えることよりも、今日をどうやって凌いでいくのかということが大事になってきます。

## 海外企業のインターンシップ

なぜ、このようなことが起きるか。1つの原因は日本の就職活動にあるのではないのでしょうか。私が留学先で現地の友達に就職活動の話を話したら、凄く驚かれました。なぜなら外国には就職活動の概念はあまりないからです。上記に示したように、海外は実力主義。若者はむしろ、会社にとって負担でしかないのです。そのため、大半の企業はインターンシップを実施し、そこから優秀な学生を選び就職させます。学生の時どんなことを行ったとかそういうことよりも、リアルな実力を求めるのです。そのため、学生は大学生のうちから自分の興味のあるインターンシップ先を探し、自ら働き、企業への適正を調べる。自分の選んだ企業で働くからこそ得られる充実感がそこにはあるのです。

今すぐ、就職活動という制度を見直すべきだとは言いません。ただ、人々は人生の大半を仕事に費やします。個々が自分の道を選びやすいような社会になっていけばいいなと思うだけです。

# 山本周五郎(下)

## ―女性に支えられた小説家―

鎌倉市在住 市川 隼

50年以上前、独仏の歴史家や哲學家をテーマにした議論が盛んだった頃、友人が飲み屋の女将に、「周五郎を読みもせず、感じもしない人間を信じないね」と言われたと、話した事がある。丁度、本屋の戸棚に、周五郎の全集が並び始めた頃であった。周五郎には、女性の読者が多かったと言われているが、周五郎も、自分の写真を見たら読者が減ると冗談を言い、写真が撮らせなかったようだ。周五郎は、女性を描くのが上手な作家だと云われ、女性を主人公に描いた作品が多い。『日本婦道記』、『柳橋物語』、『花筵』、『おたふく物語』、『五辯の椿』、『その木戸を通って』、『将監さまの細道』、『しづやしづ』、『おさん』等が代表作だし、その他の作品の『栄花物語』、『樞ノ木は残った』、『虚空遍歴』、『さぶ』等の中でも、女性の果たす役割

は大きい。しかし乍ら、周五郎の優れた読み手であった哲学者山田宗睦は、一人の女性に二人の男が絡む場合の女性の描き方は秀逸だが、一人の



腰越漁港(前妻との新婚生活界限)

男に二人の女性が絡む場合の女性の描き方には、女としての存在理由が欠如されていると指摘し、周五郎は女性を描くのが下手な作家だったのだ

はなかったかと疑問を投げ掛けているが(『山本周五郎 宿命と人間の絆』)、読者は、山田の疑問をどのように受け止めるだろうか。

周五郎は、小学生の時、友人の姉に心を惹かれ、質屋勤めの20歳前に、店主の長女に恋をし、25歳頃の浦安時代には、雑誌社の先輩の妻の妹と結婚したいと思った。慶應病院に入院した時、付き添い看護婦だった女性を口説き落とすとして結婚したのが27歳の時だったが、敗戦直前の5月に、15年連れ添った妻に先立たれ、見るに見かねて周五郎に同情した女性を、後妻に迎えた時は敗戦直後の1月の43歳だった。女性に対する周五郎の想いは真摯であり、前妻と後妻の性格が全く異なっていたのも、作品に登場する女性達の性格の幅を広くさせたと言われている。若い頃、生活の為に、少女雑誌に作品を書き続けた事も、女性を深く考える上で、役立ったと云えるのかも知れない。

市川隼によって映画化された『その木戸を通って』という小説では、ある日突然どこからともなく遣ってきた女性が、家の皆から可愛がれ、若主人と結婚し子供を授かり、暫し幸福な生活を続けるが、3年後来た時と同じように、彼女にしか見えない木戸を通って、突然何処かへと去って行ってしまう、女性の不思議さを描いた。『将監さまの細道』では、天神様の細道とは異なる歌を耳にし、探し回った幼馴染にめぐり逢えた男が不幸な女性を救い出そうとするが、「50年前・・、そして、50年後・・」と胸に刻みながら、駄目な亭主の哀願に、今を選ぶ女性を描いた。周五郎は多くの女性を作品に登場させたが、「日本の女性の一番美しいのは、連れ添っている夫も気が付かなかったところに、非常に美しく表れる」として、『日本婦道記』を書き、『おたふく物語』を書いた。これらの作品は、男



山本周五郎墓(鎌倉霊園)

性の読者を意識して、執筆したとも言われている。前者は母や前妻をモデルとし、後者は、後妻や義妹をモデルとした。前妻は、宮城県亶理町の出身の大変我慢強い人で、「私は、大衆作家の処に、嫁に来たのではない」と、周五郎が大きく羽ばたくのを待ち望んでいたようだ。後妻は、銀行勤めの物に拘らない明るい女性で、作家の生活等あまり関心が無かったようだが、髪結いで読んだ雑誌の小説が面白かったので、家に帰り周五郎に話した処、「かあさん、そりゃ、僕書いた小説だよ」と云って、作家の名前等気にしない読者に読まれてこそ、作家冥利に尽きると、周五郎は怒りも、驚きもせず、素直に喜んだそうだ。山田は前著で周五郎を、「保守の小説家である。人間が其れを失う事を自らに許す事が出来ないものを保守する」と評したが、周五郎が描いた、作中に登場する矜持を持った多くの保守する女性達に支えられたのが、周五郎だった。

# ホーム転落防止 どんな介助が必要？

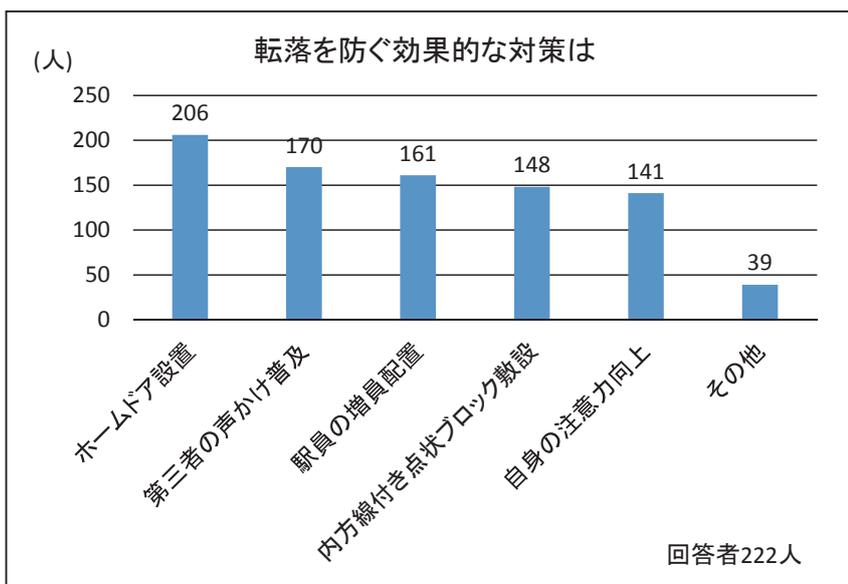
大阪 松原市民 古川 一夫

安全対策は出されたが…

今年（2017年）5月のある日の夕方、Aさんとぼったり会い、短時間だが話す機会を得た。Aさんは全盲の視覚障がい者で、私は約10年前、通勤時に何度か電車の乗降時にサポートしたことがあり、その後も年に1度くらい街角で会うと歩きながら数分間話すことがある。16年12月に安全対策が出されてから、どのように変わったのかをAさんに尋ねてみた。

安全対策とは国交省と鉄道会社が出したもので、①1日に10万人以上が利用する駅は原則として、ホームドアを2020年度までに設置する。②ホームドアがない駅で、一人で行動する視覚障がい者を見かけた場合、駅員は原則として構内を誘導し、到着する列車を待って乗車を介助する、という内容である。

これを受けて、「ホームド



アンケート対象は視覚障がい者300人毎日新聞と社会福祉法人・日本盲人会連合が共同実施

ア設置ゼロ」という全国でも最も対策が遅れている関西私鉄のうち阪急、阪神、近鉄は設置を表明する。とは言っても、主要駅の一部ホームに過

ぎず、安全対策の基準を満たしていない。だがマスコミはホームドア設置キャンペーンをびたりとやめてしまった。

**中途半端な善意は危険**  
私の問いにAさんは「介助

してくれ  
る方の中  
には、途  
中では  
い、ここ  
まで」と  
言っで立  
ち去る人  
がいるが  
これは困  
る」と答  
えた。私  
鉄から地  
下鉄に乗  
り換える  
のだが、  
介助者は  
私鉄の出  
口付近で  
声をかけ  
地下鉄入  
口付近ま

で来ると進む方向が違うため、そこで「置き去り」にして立ち去るのである。助けてもらっている立場のAさんは「いつも利用する改札口まで

連れて行って」とは口に出せない。

介助した方は「いいことをした」と思っているかもしれないが、中途半端な善意はかえって危険を招く。視覚障がい者は起点からの歩数を数えて現在場所を把握しながら、決まったルートを進む。このルートを外れた時は、わかる場所（いつも利用する改札口や乗車するドア等）まで案内しないと、視覚障がい者は自分のいる場所がわからなくなってしまう。

**能力向上も大事な要素**

Aさんは「介助を申し出る駅員さんに、慣れているからと断つても聞き入れてくれない。一律にマニュアル通り行う」というのは困る」とも言う。Aさんはわがままな性格ではないし、会話が苦手なのでもない。前述した安全対策の②については「介助を断られた場合でも、乗車するまで見守り続ける」という但し書きがあるのだが、これが生かされていないようだ。

視覚障がい者全国アンケート調査（16年12月実施）で、「転落を防ぐ効果的な対策は？」との質問への回答（複

数回答可）では、「第三者の声かけ普及」よりも「ホームドア設置」の方が若干多い。また「自身の注意力量向上」もかなりある。この回答は「一人で電車利用ができる能力を備えたい」と考える視覚障がい者は少数派ではないことを示している。

ホーム転落防止のため介助は非常に大切なことだが、その反面、介助を受けることに慣れ切ってしまうと一人で歩行する能力が低下するという矛盾が生じる。これを解決する妙案は思い浮かばない。障がい者一人一人の思いは様々なので、その思いに寄り添うような介助が必要である、と一般論を述べることしか私にはできない。

ホーム転落事故は通い慣れたいつもの駅の構内で、何らかの理由で方角がわからなくなる等の原因で起こる。見知らぬ視覚障がい者に「手伝いましよるか」と声をかけるのは勇気がいる。事故防止のために簡単に誰にでもできる方法は、危険だと判断すればすぐに抱きかかえられるように見守りながら、黙って後からついて歩くことである。

# 水平線

東京 江東区 高橋 絹代



日本海の水平線

浜に「クイーンエリザベス号」が寄港したが、その時はさぞかし華やかな水平線となり、それからも先へ先へと羨ましい夢の水平線が続いた事だろう。

水平線といえば「今も沖に未来あり」の有名な中村草田男の句を思い出す。しかし、生まれ育った日本海側の冬は海も空も暗く、とても未来などあるように思えない。この水平線の果てには暗いイメージのロシアと北朝鮮があるだけである。殊に北朝鮮の誘拐事件は、この北陸の浜辺だと思つと、海が荒れば荒れるほど、私の胸にも暗い高波が押し寄せる。この現代に人攫いがあったとは恐ろしい事件だ。

今は差別語で裏日本とは言わなくなったが、やはり風土的には表と裏の差は大きい。「白い巨船きたれり春とおからじ」（大野林火）は、太平洋の青い何処までも続く海の水平線である。数年前、横

探検しながら、豪華な船旅も悪くはない。もう儚い夢と

なったが今も尚、捨てきれないでいる。

## 衆院選挙にみる ドタバタ劇顛末

吉田進

昔から「ウソつきはドロボーの始まり」という。そんな詐欺師や泥棒は、世の中にワンサといえるが、中でもピカイチは政界だろう。そこで群がる議員先生たちの多くは、ま

う」と、了解をえたが、小池百合子先生はウンと言わなかった。「戦争法案や護憲のリベラル派を入れるつもりはサラサラない」という。それに対し、前原代表は、「想定内」とケロリ。となると、双方は「国（民進）盗り物語」

の筋書きどおりの実も名もないお粗末な一席やったと思いたくなる。結果は2ページ。小池氏は、「ユリノミクス」と称する政策を出しているが、このドロボー男女は早く消えてほしいと思うやきり。さて、その夢が正夢となるか、はたまた悪夢のつづきとなるか？ ドアホウ・コンビは、ご退場願いたい。

これに反して決して忘れてはいけない悲しい水平線もある。尊い青春の命をお国のためにと捧げた兵士、特に知覧の、行って帰らぬ水平線は、深い慟哭の波音となっているに違いない。

黒船来航によって開港された下田は、日本の夜明けを今日に導いた歴史上の町である。寝姿山の山頂から日夜、黒船の襲来を見張ったという。その水平線から黒船が現れた時はどんなにか驚き大騒ぎになった事だろう。岬の灯台に登ると、何処までも青い海の水平線が丸く見える。思わず「行って見たいな他所の国」と口ずさみ、胸いっばいに潮風を吸い込んだ。島国である日本の水平線をぐるりと

今回、安倍首相もその一人。森友、加計学園問題の追及を消すため、急遽、衆議院を解散。人気挽回を狙って赤字財政補填のために約束していた消費税の増税分（8% ↓10%）を「子どもの教育費無償化に使う」と公言する。

総選挙——激変か？ さらに右傾化か？ しかし、精々10年、20年のチームでしかない。川名氏の「環境問題」を読んでは数万年、億万年にも思いが及ぶように。岩名氏のご母堂は百余歳で今年逝去され、彼は60年間住んだ自宅売却の思いを語っている。また、裏表紙の中田さんは60年前の自宅の絵を掲載された。歳月なら憂国太郎氏は「護憲派は戦後60年前から時計が止まっている」と言いたいようだが、その思考回路は80年前と余り変わらないのでは。本誌は改憲問題について多様な意見を取上げるので今回は違った角度の投稿を掲

## 編集後記

載した次第です。市川氏の山本周五郎は昭和30年代に活躍した。また大山さんと古川氏は現代を嘆く。100年後の世界を見たいと思いと1億年前の地球を覗きたい思いが交錯する。日本列島は2000万年前に大陸から分離して今でも大陸側にモザイクのようにはめ込めるとか。その日本列島の東京とソウルに北の核ミサイルが25発落とされたら2000万人が死ぬと米軍が推計。そんな暇があれば北と争いを避ける努力をしてみたい。環境保護を唱える川名氏は「地球は人類だけのものではないぞ」と嘆かれることだろう。人生は長く短い。

